

しか おい

議会だより

三二版

No.75

2022.8.25

発行 / 鹿追町議会 編集 / 広報広聴常任委員会・広報部会
〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町1丁目15番地1
TEL / 0156-66-4039 FAX / 0156-66-4041



鹿追会場の平成館では4人が参加

議会報告会・広聴会を 開催

7月20日

まちなか会議 議会報告会・広聴会が鹿追（平成館）、瓜幕（ウリマックホール）の2会場で開催された。合わせて5人が参加した。
議員からは6月定例議会において審議、決定した予算や条例改正等の内容について報告した。
このあとの懇談会では、公園樹木等の管理や景観形成へ配慮、鹿追高校の全国公募等について意見が出された。



交流センターみないる 防災用品を保管し、
屋内ゲートボール場としても活用

町・議会 合同現地調査 を実施

7月22日

町と議会の合同調査として、13カ所を現地調査した。
主な調査内容については次のとおりである。

○交流センターみないる

平成29年度から供用開始しているこの施設は、ゲートボール場（屋内2面、屋外1面）及び防災備蓄庫を備えている。

ゲートボール場については、利用希望団体へ日程が割り当てられており、良好に効率よく利用されている。

防災備蓄庫は、物資を少量しか格納できない状況である。



旧鹿追保育園 現在は防災備蓄庫として活用

○旧鹿追保育園（防災備蓄庫）

防災備蓄品を保管する施設として活用している。
200人分を3日分置いているとのことだが、避難所開設等のシミュレーションが必要である。

また、具体的な備蓄数及び配置を分かりやすく掲示すべきである。

瓜幕地区にある旧KDDI中継局の防災備蓄庫にも保管しているが、発電機等を備蓄している。ここに瓜幕地区で使用できる全種類の備蓄品を保管するのか、町全体分を1カ所に保管するのかを検討する必要がある。

○自営線ネットワーク

令和3年度から稼働しているこの設備は、旧鹿追墓地に太陽光発電及び蓄電池を設置し、自営線で結んだ町民ホール、トリムセンター等の9公共施設へ送電している。

発電及び各公共施設への電力供給は、今のところ順調に推移している。



自営線ネットワーク 停電時は町民ホール及びトリムセンターの電力を賄う

○トリムセンター、神田日勝記念美術館、町民ホール

いずれも平成5年度から供用開始している3施設は、雨漏り等による湿度の上昇によりカビの発生が心配されることから、早急な改善が必要である。

具体的な修繕は、役場周辺の公共施設の改修調査を行い、その結果により

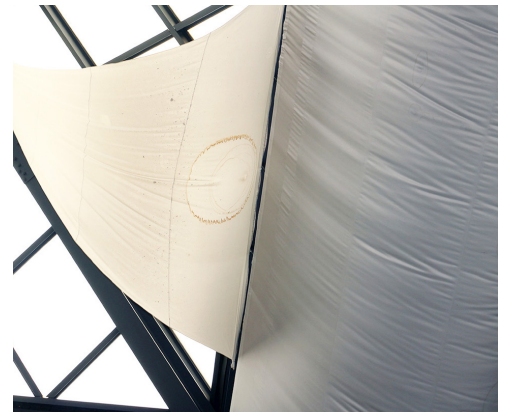
修繕計画を作成し、随時修繕を行なっていく必要がある。



トリムセンター
複数箇所天井から雨漏り



神田日勝記念美術館
雨漏り対策で仮壁を設置



町民ホールのストニプレインホール天井
雨漏りでできたしみ

○中鹿追バイオガスプラント

平成19年度に稼働開始し、家畜ふん尿等を発酵し、精製されるメタンガスで発電及び水素を製造し燃料電池車等へ供給している。



中鹿追バイオガスプラント
ガスバッグでメタンガスを貯蔵

100キロワットの発電機も更新され、稼働している。
施設の築年数が進んでいることから、修理、更新等の年次計画が必要と思われる。

○チョウザメの試験研究施設及び周辺
平成26年度から稼働開始しているこの施設は、バイオガスプラントからの余熱により、チョウザメのふ化及び育成を行なっている。

今のところ順調であるが、観察が必要である。

屋外の水槽は地下水で水量が少なく、藻が発生し濁っている状況である。



チョウザメの中池 試験研究施設と外池の合計約5800匹を飼育中

○マンゴー栽培ハウス

平成25年度に、農村青年会が代表者、

町が構成員の「郷土を想う青年の夢 鹿追マンゴープロジェクトコンソーシアム」が設立された。バイオガスパラントの余剰熱及び雪氷熱を利用し、マンゴーの端境期である冬季に栽培・出荷している。

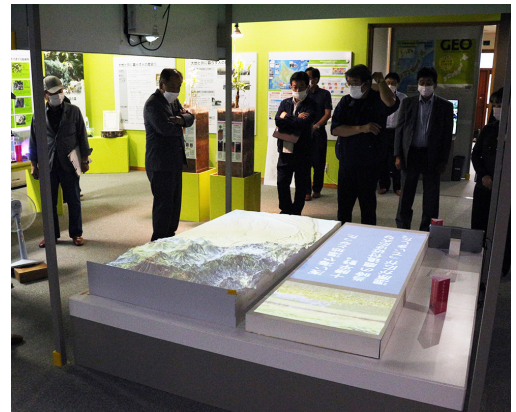
調査時点ではマンゴー開花目前であり、予定どおりの収穫が期待される。また、マンゴーの木が成長し、ハウスが手狭になりつつある。



マンゴー栽培ハウス
開花時期にハチが花を受粉

○とち鹿追ジオパーク会館

平成25年に日本ジオパークに認定され、4年ごとに再認定審査が行われる。事務所が2階に移動し、視察対応は1階会議室又はウリマツクホールで行なっている。
建物周辺はきれいに整備され、環境は良好である。



とち鹿追ジオパーク会館
プロジェクションマッピング

○瓜幕バイオガスプラント

平成26年度から稼働開始している。鹿追バイオガスパラントと同様、家畜ふん尿を発酵して精製されるメタンガスで発電している。施設は順調に稼働しているが、利用



瓜幕バイオガスパラントの発電機

組合員のは場だけでは消化液の散布面積が足りず、畑作農家や周辺地区の農家にも散布協力をしてもらっている。域内の耕種農家へ、利用促進に向けてもっとアップルする必要がある。

○瓜幕余剰熱利用ハウス

平成28年度から稼働を開始しているこの施設は、瓜幕バイオガスパラントの余剰熱を活用し、野菜等を水耕栽培している。調査時点ではミニトマトは種まき前であった。設備の整った水耕栽培施設で、露地や普通のビニールハウスでも収穫できるミニトマトや小松菜を栽培する必要について再考する必要がある。施設を最大限活用できる作物の栽



瓜幕余剰熱利用ハウス
主に葉物野菜を栽培

培への転換や、運営形態も民間に譲渡する、農福連携のうち福祉を中心とした運営に転換する等、根本的な活用の転換を検討していかなければならない。

○旧岩松養魚場

新得町内にある個人所有の養魚場を平成30年度に購入し、チョウザメ養殖施設として活用している。河川水の利用で水の濁りもなく、季節感もあることから、チョウザメの飼育には良い環境である。以前にあったアライグマによる被害も各対策で抑えられており、今後のキャビア採卵が期待できる。台風等による水害対策が必要な可能性がある。



旧岩松養魚場
チョウザメ約2300匹とニジマスを飼育中

9月定例議会 開催予定

16日(金)	本会議	午前10時～
20日(火)	本会議(残り)	//
21日(水)	一般質問	//
22日(木)	一般質問(残り)	//
26日(月)	決算審査特別委員会	午前9時30分～
27日(火)	//	//
28日(水)	//	//
//	本会議(最終日)	決算審査特別委員会終了後

議会中継やっています。

YouTube で議会中継を閲覧
できます。

右記のQRコードを読み取るか、左記の時刻に鹿追町議会 議会中継ページからご覧ください。

(9月21日がおすすめです。
過去の中継もご覧いただけます)

<https://www.town.shikaoi.lg.jp/gikai/chukei/>



主な議会活動

〈6月〉

- 7日 総務文教常任委員会
- 8日 産業厚生常任委員会
- 13日 全員協議会
議会運営委員会
- 20日 定例議会 初日
産業厚生常任委員会
- 23日 定例議会 一般質問
全員協議会
- 24日 定例議会 最終日
総務文教常任委員会

〈7月〉

- 8日 広報広聴常任委員会 広報部会
- 15日 広報広聴常任委員会 広報部会
- 20日 まちなか会議 議会報告会・広聴会
- 22日 町・議会合同現地調査
- 28日 委員長会議
- 29日 産業厚生常任委員会

〈8月〉

- 3日 総務文教常任委員会
- 9日 長野県飯田市議会 視察来町
- 17日 全員協議会
広報広聴常任委員会 広報部会
- 22日 第3回臨時議会
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
- 23日 まちなか会議 議員とカフェでひとこと

(今後の動き)

- 29日～31日
産業厚生常任委員会 所管事務調査
(枝幸町、美深町、士別市)

〈9月〉

- 6日 総務文教常任委員会
- 7日 産業厚生常任委員会
- 9日 全員協議会
議会運営委員会

広報広聴常任委員会

広報部会

部会長	台蔵 征一
副部会長	清水 浩徳
部会員	安藤 幹夫
部会員	川染 洋
部会員	山口 優子

私たち議員の4年間の任期が、令和5年4月末までと残りわずかとなりました。最初の1年間は通常の活動ができましたが、その後はコロナ禍で人数が集まるのが難しくなり、幅広く町民皆さんの声を聴くことや、町内外に向いての調査研究が制限されました。本場にフラストレーションの溜まる日常でした。
新型コロナウイルスは依然減りませんが、コロナと共存した議会活動を探っていくかなければなりません。



上嶋 和志

ウイズコロナで議会活動

議員コラム

控え室